

第35期 定時株主総会 補足資料

ユニーグループ・ホールディングス株式会社 との経営統合について

CONTENTS

経営統合の概要

| | |
|-----------------|----|
| 1.本経営統合の意義 | 01 |
| 2.本経営統合のポイント | 02 |
| 3.当事会社の概要 | 03 |
| 4.吸収合併に係る割当ての内容 | 04 |
| 5.本経営統合後の状況 | 05 |
| 6.本経営統合の目標 | 07 |
| 7.本経営統合のスケジュール | 07 |

1 本経営統合の意義

近年、国内の小売事業環境は大きく変化しています。総人口の減少による市場規模の縮小や、コンビニエンスストア（「CVS」）の出店競争、ドラッグストア、同業に加え量販店や百貨店等の異業態との競争激化という厳しい経営環境の一方で、利便性や差別化された商品を志向するお客様が増えており、新たな発想による事業機会が生まれています。海外

においては、景気変動の影響を受けつつも、日本で発展したCVSという業態が着実に根付いています。経済発展とともに、小売業態全般に競争は厳しくなりますが、独自の価値を提供していくことでの成長余地は依然として大きいと考えられます。

かかる状況の下、競争を勝ち抜くためには、当社とユニーグループ・ホールディングス株式会社（「ユニー

グループHDJ」）両社の経営資源を結集し、新たな小売グループを形成することが必要であるとの結論に至りました。

本経営統合により、両社の経営資源を結集し、お客様、フランチャイズ・オーナー、お取引先、株主の皆様、従業員に貢献できる企業となることを目指してまいります。

CVS事業

- ▶ ブランドの一本化
- ▶ 商品調達力の強化
- ▶ 商品開発力の強化
- ▶ 物流センター等のインフラの集約
- ▶ 情報システム等の統合

総合小売事業

- ▶ 東海・関東圏へのフォーカス
- ▶ 新しい店舗フォーマットの開発
- ▶ CVS事業の調達力・サービスの活用
- ▶ イーコマースの協業

その他グループ事業

- ▶ 両社が持つ事業基盤を活用し、新たな事業モデルを構築

●上記に加え、収益の最大化に向け、不採算店舗の閉鎖を含めた、抜本的な改革を推進。

2 本経営統合のポイント

当社とユニーグループHDは、平成27年10月15日に、本経営統合に関する基本合意書を締結し、本経営統合に向けた協議を行ってまいりました。

その後、両社は、平成28年2月3日に、当社を吸収合併存続会社、ユニーグループHDを吸収合併消滅会社とする吸収合併（「本吸収合併」）に関する吸収合併契約を締結し、当社とユニーグループHDの完全子会社で

ある株式会社サークルKサンクス（「サークルKサンクス」）は、同日、本吸収合併の効力発生を条件として、本吸収合併後の当社（「統合会社」）を吸収分割会社、サークルKサンクスを吸収分割承継会社とする吸収分割（「本吸収分割」）に関する吸収分割契約を締結いたしました。

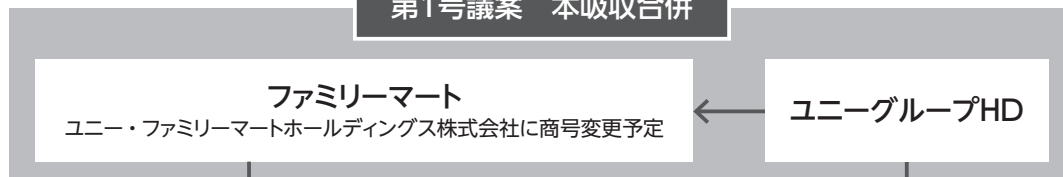
なお、本吸収合併・本吸収分割の効力発生日は、平成28年9月1日を予定しております。また、統合会社

の商号を「ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社」に、サークルKサンクスの商号を「株式会社ファミリーマート」に変更することを予定しております。

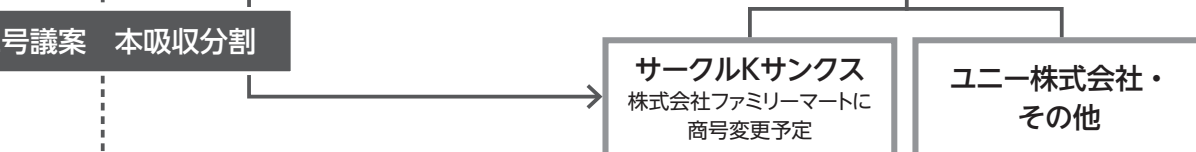
吸収合併

- ▶ 新HD社名：ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社
- ▶ 所在地：東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
- ▶ 効力発生日：平成28年9月1日（予定）

第1号議案 本吸収合併



第2号議案 本吸収分割



吸収分割

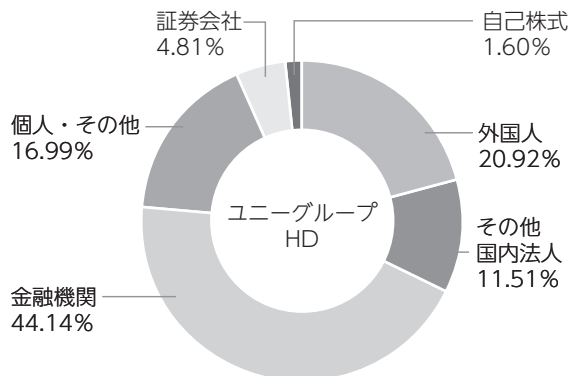
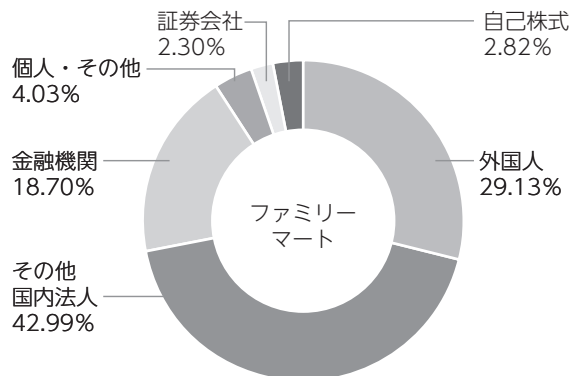
- ▶ 新CVS社名：株式会社ファミリーマート
- ▶ 所在地：東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
- ▶ ブランド：ファミリーマート
- ▶ 効力発生日：平成28年9月1日（予定）

3 当事会社の概要

■ 当事会社の概要

| | ファミリーマート | ユニグループHD | サークルKサンクス |
|---------------------------|----------------------------|--|---|
| 名 称 | 株式会社ファミリーマート | ユニグループ・ホールディングス株式会社 | 株式会社サークルKサンクス |
| 所 在 地 | 東京都豊島区東池袋三丁目 1番 1号 | 愛知県稲沢市天池五反田町 1番地 | 愛知県稲沢市天池五反田町 1番地 |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 中山 勇 | 代表取締役社長 佐古 則男 | 代表取締役社長 竹内 修一 |
| 事 業 内 容 | フランチャイズシステムによるコンビニエンスストア事業 | 総合小売、コンビニエンスストア、専門店、金融サービス事業などで構成される企業グループの運営企画・管理(純粋持株会社) | コンビニエンスストア「サークルK」「サンクス」のフランチャイズチェーン主宰事業 |
| 資 本 金 | 16,658百万円 | 22,187百万円 | 8,380百万円 |
| 設 立 年 月 日 | 昭和56年9月1日 | 昭和25年3月13日 | 平成13年7月2日 |
| 発 行 済 株 式 数 | 97,683,133株 | 234,100,821株 | 25株(A種種類株式) |
| 決 算 期 | 2月期 | 2月期 | 2月期 |
| 従 業 員 数 (平成28年2月29日現在) | 7,622名(連結) | 8,993名(連結) | 1,797名(単体) |

■ 株式分布状況 (平成28年2月29日現在)



※サークルKサンクスは、ユニグループHDの100%子会社であります。

■ 経営成績及び財政状態

(単位：百万円)

| 決 算 期 | ファミリーマート | | ユニグループHD | | サークルKサンクス | |
|------------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 平成27年 2月期 | 平成28年 2月期 | 平成27年 2月期 | 平成28年 2月期 | 平成27年 2月期 | 平成28年 2月期 |
| 連 結 純 資 産 | 284,829 | 295,229 | 301,249 | 285,018 | 145,857 | 142,014 |
| 連 結 総 資 産 | 666,244 | 730,295 | 952,584 | 973,233 | 260,185 | 264,631 |
| 連 結 営 業 総 収 入 | 374,430 | 427,676 | 1,018,959 | 1,038,733 | 141,030 | 144,345 |
| 連 結 営 業 利 益 | 40,417 | 48,734 | 20,237 | 22,367 | 8,629 | 8,325 |
| 連 結 経 常 利 益 | 42,520 | 51,888 | 20,488 | 21,657 | 7,932 | 7,161 |
| 連 結 当 期 純 利 益 又 は 連 結 当 期 純 損 失 | 25,672 | 21,067 | △2,408 | △2,873 | 3,073 | △2,178 |

※サークルKサンクスの経営成績及び財政状態については同社の単体数値を用いております。

4 吸収合併に係る割当ての内容

当社は、本吸収合併の効力が生ずる時点の直前時におけるユニグループHDの株主の皆様に対し、その保有するユニグループHDの普通株式1株につき、当社の普通株式0.138株の割合をもって当社の普通株式を割り当てます。

| | ファミリーマート (吸収合併存続会社) | ユニグループHD (吸収合併消滅会社) |
|--------------|------------------------|------------------------|
| 本吸収合併に係る割当比率 | 1 | 0.138 |

5 本経営統合後の状況

1. 本経営統合後の経営体制

当社が本定時株主総会に上程しております第1号議案ないし第3号議案及びユニーグループHDが同社の第45回定時株主総会に上程しております本経営統合に係る議案が原案どおり承認可決されますと、平成28年9

月1日（予定）をもって、統合会社である「ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社」は、各事業会社を支配又は管理することを目的とする持株会社（新HD会社）へ移行し、現ファミリーマート及び現サー

クルKサンクスの各CVS事業は、新CVS会社「株式会社ファミリーマート」のもとで「ファミリーマート」ブランドとして一本化されます。

■ 吸収合併存続会社（現ファミリーマート・新HD会社）の概要

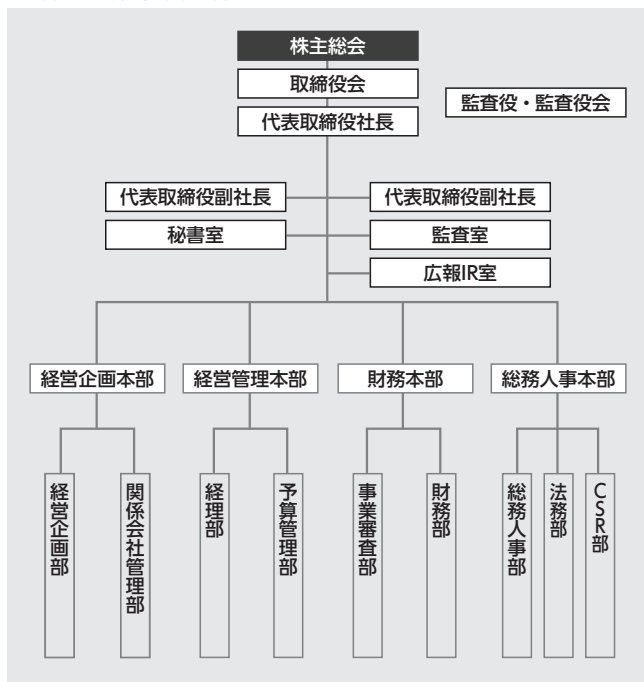
| 吸収合併存続会社 | |
|---------------|---|
| 名 称 | ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社 FamilyMart UNY Holdings Co.,Ltd. (英語名) FUHD (略称) |
| 所 在 地 | 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 |
| 代表者の 役職・氏名 | 代表取締役社長 上田 準二 代表取締役副社長 佐古 則男 代表取締役副社長 中山 勇 |
| 事業内容 | コンビニエンスストア、総合小売、専門店、金融サービス事業などで構成される企業グループの運営企画・管理(純粋持株会社) |
| 資 本 金 | 16,658百万円 |
| 決 算 期 | 2月期 |

■ 吸収分割承継会社（現サークルKサンクス・新CVS会社）の概要

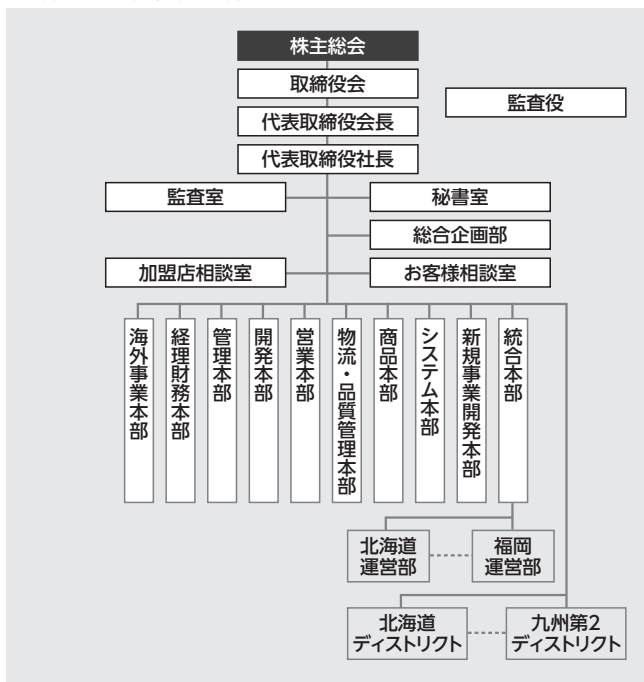
| 吸収分割承継会社 | |
|---------------|---|
| 名 称 | 株式会社ファミリーマート FamilyMart Co.,Ltd. (英語名) |
| 所 在 地 | 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 |
| 代表者の 役職・氏名 | 代表取締役会長 中山 勇 代表取締役社長 澤田貴司 |
| 事業内容 | フランチャイズシステムによるコンビニエンスストア事業 |
| 資 本 金 | 8,380百万円 |
| 決 算 期 | 2月期 |

2. 新組織の運営体制

■ 新HD会社組織体制



■ 新CVS会社組織体制



3. 企業理念

新HD会社
企業理念

くらし、たのしく、あたらしく

新CVS会社
企業理念

～ あなたと、コンビニに、ファミリーマート ～

来るたびに楽しい発見があって、新鮮さにあふれたコンビニへ。
私たちは、便利で安心できるサービスを通じ、
お客さまの気持ちにいちばん近い存在を目指します。

6 本経営統合の目標

本経営統合によるシナジー効果を最大限に発揮するとともに不採算店舗や事業を見直し、確固たる収益基盤を確立することで、統合後5年以内に国内売上高5兆円以上、連結純利益600億円以上を目指してまいります。

■ 統合前 (平成28年2月期実績)

| | ファミリーマート・ ユニーグループHD 合算 |
|-----------------|------------------------------|
| 国内グループ売上高 | 3.9兆円 |
| 連結営業利益 | 711億円 |
| 連結純利益 | 181億円 |
| 連結ROE | — |
| CVS・GMS・SM国内店舗数 | 18,327店 |
| CVS・GMS海外店舗数 | 5,850店 |

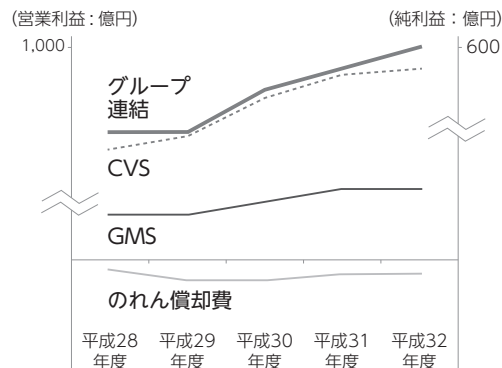
■ 統合後 (5年以内)

| | 新統合会社 |
|--|-----------|
| | 5兆円以上 |
| | 1,000億円以上 |
| | 600億円以上 |
| | 12%以上 |
| | 2万店以上 |
| | 1万店以上 |

■ 統合後の利益成長イメージ

連結営業利益 1,000 億円

連結純利益 600 億円



7 本経営統合のスケジュール

| | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 吸収合併契約・吸収分割契約締結日 | 平成28年2月3日 |
| 両社定時株主総会開催日 (吸収合併契約・吸収分割契約承認等) | 平成28年5月26日 ※サークルKサンクスは、平成28年5月24日 |
| 本吸収合併・本吸収分割効力発生日 経 営 統 合 | 平成28年9月1日(予定) |